

# ブリッジ BRIDGE

社会福祉法人 ゆうかり

82 08  
2024



## ● 特集 『ゆうかり公演にむけて』

● グランドゴルフ、キックインセレモニー 他  
〈ゆうかり学園〉

● 入園式、親子遠足 他  
〈ゆうかり保育園〉

● ぱすてる土曜開所 他  
〈地域生活支援拠点ゆうかり〉



社会福祉法人ゆうかり HP



## バリアフリー演劇 ゆうかり公演にむけて

### ◇はじめに

2024年10月26日に《権藤説子プレゼンツ誰もが楽しめるバリアフリー演劇in鹿児島『ジャンヌダルク〜ジャンヌと炎』》の公演を行えることを大変嬉しく思います。この場をお借りして、権藤説子さん、社会福祉法人ゆうかり理事長水流源彦さん、実行委員会のみなさん、ゆうかりの支援者・利用者のみなさん、そしてご尽力いただいているたくさんの方々に大きな感謝をお伝えしたいと思います、本当にありがとうございます。

公演当日、皆さんと会場（鹿児島アリーナ）でお会いできることを願って、さまざまな準備を進めています。今回は、長崎県新上五島町の有川羽差太鼓の上演も予定しています。みなさん、ふらっと気軽な気持ちで遊びにきていただけたら嬉しいです。

ゆうかりのみなさんとはこれまで県内で2回のバリアフリー演劇公演を行ってきました。2022年11月『ヘレンケラー〜ひびき合うものたち』（サンエールかごしま）、そして2023年『Touch〜孤独から愛へ』（始良市加音ホール）、そして今回の『ジャンヌ・ダルク』が3回目の上演となります。



### ◇バリアフリー演劇との出会い

私たち東京演劇集団風がバリアフリー演劇の取り組みを始めたのは、5年前の2019年です。

バリアフリー演劇に取り組むまで、福祉と演劇の関係は遠いものであったと思います。少なくともわたしは、恥ずかしながら情報保障という言葉も聞いたことがなく、バリアフリー演劇って「障害がある方が理解できる、楽しめる演劇なのかな」そんな浅はかなところからスタートしたような気がします。

しかし、違いました。

バリアフリー演劇を通してゆうかりのみなさんと出会い、共に過ごす時間の中で、そして全国各地でのバリア

フリー演劇の上演のなかで、わたしはバリアフリー演劇とは何かを覚えてもらったのです。

バリアフリー演劇の劇場に来てくださった観客の皆さんのひとつひとつの言葉、視線、生き活きとした姿。そんな皆さんが創り出してくださったのは、障害があってもなくても、さまざまな環境にある人たちが集まれる、それぞれが自分らしくいられる、自分らしく楽しめる空間でした。



ひとりひとりの感性が劇場空間いっぱい飛び交い、舞台がつくられていく。

その喜びは、ひとつひとつの公演のなかで起こる、驚きからはじまりました。それは今まで感じたことのない、とても豊かな場所と空間でした。これまで私たち作り手側がどれほど観客の可能性を狭めてきたのだろうと唖然としてしまったほどです。バリアフリー演劇での、驚きと発見の連続の積み重ねは、わたしだけでなく劇団全員の大きな経験となっています。

そして社会福祉法人の方々との交流も重ねながら、バリアフリー演劇がいまの社会にとって何なのか語り合い、障害のある方々を核とした絆が生まれ、広がりのある活動へと繋がってきました。

ひとりひとりがありのまま、ともにある喜びの瞬間を感じられる、そんな公演を作れる幸せと何が起きるのかと期待を抱きながら、10月26日にみなさんと出会えるのを楽しみにしています。この活動は、まだまだ旅の途上です。ぜひみなさんに応援していただければ幸いです。



東京演劇集団風 俳優 中村 滋  
-プロフィール-

日本大学芸術学部演劇学科卒業。  
2006年、東京演劇集団風に入団。  
九州プロジェクトで全国巡回公演の  
プロデュースを行っている。



4月誕生日外食!



お得意のビーズネックレス



つつじも綺麗!



お別れ会でした



ぐりぶーと一緒に



七分咲きくらい?!



満開まであと少し



スポーツ大会出場



綱引き上位入賞



他のチームに負けないぞ!



焼きそばパーティにて



春のパン祭り



グランドゴルフガールズ



ゆうかりストライカー!

## グランドゴルフ

4月27日、知的障害関係施設親善球技大会のグランドゴルフに4名2チーム、計8名で参加してきました。午前中は大雨が降っており中止を覚悟していましたが、午後から雨も上がり桜島のグラウンドの水捌けの良さもあって、無事に競技を行なう事が出来ました。コロナ禍も明け、久しぶりの大会参加でしたが、皆さんとても楽しそうに参加されていました。

writer:有馬 大貴

## キックインセレモニー

6月2日、J2リーグ第18節の鹿児島ユナイテッドFC対ブラウブリッツ秋田の試合前恒例のキックインセレモニー。ゆうかり学園の大賀さんが、支援学校の生徒会長という事で白羽の矢がたち登場。かなり緊張をしていましたが、本番は元気にキック!見事大役を果たし、ユナイテッドサポーターからも声援が送られました。一生の思い出になったことと思います。

writer:宇都 大作



4月1日 入園式



おめでとう♪



よろしくね♪



5月11日 親子遠足



楽しい!



ミニオンとハイチーズ!



ミニオンの中身は…



5月24日 芋の苗植え



豚さんどうぞ



公園でも遊んだよ!



お弁当美味しいな♪



ひまわりの種植え



風つよい!



楽しみだな～



みんな真剣です

## 親子遠足

好天に恵まれ、昨年度、雨天中止となった分まで楽しむ平川動物公園での親子遠足。体の大きなゾウや首の長いキリン、愛くるしい目をしたコアラたちが、子ども達を歓迎してくれていました。大きい組さんは疲れも見せずに元気に歩き回り、小さい組さんは歩く距離が短いながらも、かわいい動物たちに夢中になっていました。好きな動物を見ながら、親子で嬉しそうに語り合っている姿に癒される一日となりました。

writer:富窪 猛

## 大きくなーれ

GWが明け、さくら・もも組と一緒にひまわりの種を植えました。スコップを手に、土と肥料を混ぜてまずは土づくり。風が強い日だったので目に砂が入ったり、帽子が飛ばされそうになりながらも頑張りました。種を植える前にじっくり観察して、絵の記録も残しました。種を土の中に入れて「大きくなーれ」と優しく声をかけながら水もたっぷりかけました。この号が完成する頃には、大きなひまわりの花が咲いているといいなと思います。

writer:富山 美加



緊急時の対応指導



慎重に避難



緊急時は私に任せて!!



どこに活けたら綺麗なかな～



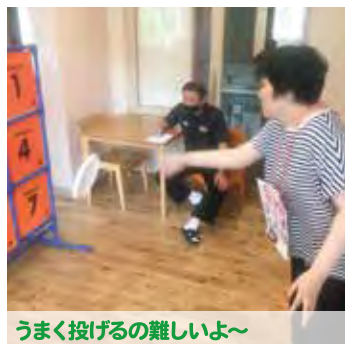
お花も僕も満開の笑顔～v～



渾身の力作!!



真っ直ぐ的確に!!



うまく投げるの難しいよ～



ゆうかり3人娘 愛情注入♡



頑張ったから美味しい



優雅なひと時



冷たくておいし～



男子会(～v～)

## ぱすてる活動

6月13日に消防立会の避難訓練が行われました。今回は火災発生時の緊急対応や避難指導、消火器を使っての消火訓練などを行いました。緊急対応は命にかかわる事なので真剣な表情で職員も参加しており、避難指導では車椅子の方の避難経路の確認や実際に避難を実施しました。5月14日にはフラワーアレンジメントの活動をしました。皆さんとても真剣な表情でお花を活けており、素敵な作品が沢山できました。

writer:溝下 壮太郎

## ぱすてる土曜開所

今年度から月2回の実施に増えた土曜開所。様々な活動を実施して普段の活動とは一味違う楽しみを提供しています。5月11日は室内運動会を開催。2チームに分かれて様々な競技で競い合いました。6月8日はパンケーキ作りをしました。生地作りから、焼く・盛り付けまでみんなで協力して美味しく出来ました。6月22日はショッピングモールイオンで買い物と、アイスクリームとコーヒーで少し贅沢なティータイムを楽しみました。

writer:溝下 壮太郎



## 研修報告 医療的ケア児の支援について考える

### 医療的ケア児とは

令和6年3月30日、鹿児島県医療的ケア児等支援センターのセンター長前野かつ子さんを講師にお招きして、医療的ケア児支援における保育園等の体制整備について考える研修が、保育園内にて執り行われました。

医療的ケアって何だと思いませんか?と先生に問われ、耳にしたことはあるけれど具体的に説明することはできない自分がいました。

人が生きていくためには「水・酸素(呼吸)・栄養・体温」を常に気にしていく必要があります。

これらに関わる①呼吸のための補助的な支援②栄養のための支援③排泄のための支援④その他インスリン注射や血糖測定等の支援をすることを医療的ケアといい、医療的ケアが日常的に必要な児童のことを、医療的ケア児といいます。

### 保育園でできること

就園・就学を望む保護者・園児を受け入れる

ために、保育園でできることはなんでしょう。

①看護師の確保・保育士(3号認定)の育成  
②保育園計画・支援計画の策定、医療的ケアをする場所の確保③補助金の申請・行政との連携④急変時・災害時の体制など、受け入れるためには他にも数多くのことを想定し体制を考え、実行していく必要があります。

### 今後の課題

今回の研修を受け、親御さんの気持ちを知り今後も受け入れていきたいという気持ちと同時に、より具体的な支援内容を知ったからこそ、医療に携わっていない自分たちに可能なのか?という不安を抱いたのも正直な感想です。このような不安を漠然としたままにせず、取り除くためにはどうしたらいいのかを考えることが一人でも多くの医療的ケア児を受け入れる第一歩なのかなと感じました。

writer: 甲斐 静華

## 長寿祝い 古希を迎えました。 おめでとうございます!



古希  
Sさん  
S29生まれ



古希  
Nさん  
S29生まれ

## お知らせ よろしくお願ひします!

### ◎新入職員コメント

4月から新入職員として入職し、日々頑張っています。先輩方も優しく楽しい職場です。これからも利用者さんのために頑張っていきたいです。

(玉利 卓巳)

## 「科学と裁判」

社会福祉法人ゆうかり評議員 弁護士 染川周郎

法医学という学問分野があります。医学的な助言が必要となった法律上の問題に対して、科学的かつ客観的な判断を示すことで、基本的人権や公共の福祉の擁護に寄与する医学領域とされており、具体的には異常死や死因の診断等が挙げられます。例をあげますと、殺人事件で被告人は真犯人は自分ではないと無罪を主張している、凶器に被告人の指紋と被害者の血液が付着しているといった事案で、その血液が被害者のものであるかどうかについて科学的判断を下すといった領域です。

この分野で昭和20年代～昭和60年代にかけて、ABO式血液型の研究者で法医学の神様とまでいわれ、その鑑定意見は地裁から最高裁までほとんど絶対的な権威を誇った古畑種基東大教授、文化勲章受章者がいます。

ところが、その後のDNA鑑定等の進歩と共に古畑が行った殺人事件における鑑定は次々と間違いであったことが証明され、死刑等の有罪判決が確定した者が起こした再審事件で昭和50～昭和60年にかけて再審無罪判決が続くという異常事態に至ったという歴史があります。

四大死刑冤罪事件(免田事件、財田川事件、松山事件、島田事件)のうち、免田事件以外の3件の冤罪事件は古畑鑑定を盲目的に採用した裁判所の誤判による死刑判決の確定という「恐ろしい科学」

によって多数の犠牲者を生んだもので、我が国における刑事裁判の大汚点と言わなければならないものです。

### 財田川事件

財田川事件の概要は、被害者男性が全身30カ所を刃物でめった刺しにされて殺害され、現金を奪われたというものです。被告人は、アリバイ成立と自白は拷問によるものであるとして無罪を主張し、これに対し検察側は、被告人が犯行時に着用していたとするズボンに微量ではあるが、古畑鑑定によると被害者と同じO型の血痕であると断定できる物的証拠があり有罪であると主張しました。一旦は最高裁まで死刑判決を出しましたが、再審で古畑鑑定は信用できない、当該ズボンを事件当日着用していた証拠もない等他の証拠も総合して被告人は無罪となりました。1950年の逮捕から34年後のことでした。

### 松山事件

松山事件の概要は、家屋の全焼と就寝中の家族4人の死亡事故が発生し、遺体解剖の結果、長男以外の頭部に刀傷らしきものが認められるとして、放火殺人事件として、立件されたものです。1955年に逮捕された被告人の自宅から押収された掛け布団の襟当に付着していた血痕は被害者のものと同じだという鑑定が決め手になって一旦は死刑判決が

確定しましたが、再審において同鑑定の証拠としての価値は乏しく、自白も強制されたもので、前後矛盾した内容で信用できないとして、1984年に無罪判決を受けたものです。

### 島田事件

島田事件の概要は、1954年に発生した幼女誘拐殺人、死体遺棄事件で、一旦は死刑判決が確定しましたが、1989年に再審で無罪になった冤罪事件です。この事件における古畑鑑定は血液型に関するものではなく、被害幼児の外傷に関するものですが、遺体解剖を行った医師は外傷には生活反応がないとの鑑定を出しましたが、これが被告人の自白と矛盾するというので、裁判所が古畑教授に鑑定を依頼し、自白とおりの経過で外傷が生じたという鑑定を得て死刑判決を下したものでした。

古畑鑑定の犠牲者は他にも弘前大教授夫人殺人事件の被告人(被告人の着衣に付着した血液が被害者のものと完全に一致すると鑑定した)等あります。

医学鑑定は、事実の認定に科学的根拠を付与するものではありませんが、裁判においては、法律家が鑑定の内容のみならず鑑定結果に至る判断過程の検証、吟味を十分にしないと科学が冤罪を生んでしまうということを思い知らされる歴史です。



### プロフィール

社会福祉法人ゆうかり 評議員  
鹿児島県知的障害者福祉協会法律顧問  
弁護士 染川周郎

5月にさくら・もも組さんが植えた  
ひまわりの様子です。  
7月現在、ここまで大きくなりました。  
花が咲くのはいつかな～と  
子ども達も楽しみにしていますが、  
私たち大人も出勤時の楽しみになっています。  
私はこれまで植物にあまり興味がなかったの  
ですが、今回のひまわりをきっかけに成長過程  
を見る楽しさを覚え、日々を頑張る活力になって  
います。



writer: 甲斐 静華

## = Event =

🏠 ご家族も参加いただけます 🌳 地域の方々も参加いただけます

	ゆうかり学園	ゆうかり保育園	地域生活支援拠点ゆうかり
8月	13日～15日 夏季休暇 誕生者外出	7日 避難訓練 8日 食育・クッキング 24日 一年生同窓会 30日 防犯教室	誕生会 納涼会
9月	十五夜 いつまでも元氣会 誕生者外出	4日 避難訓練 18日 食育・クッキング 21日 親子レクリエーション	誕生会 とうろうづくり
10月	誕生者外出	4日 秋の遠足 9日 避難訓練 16日 内科健診 17日 食育	誕生会 運動会

発行責任者 理事長 水流 源彦  
ブリッジ編集委員会 宇都 大作・塚田 詞子 (ゆうかり学園) 甲斐 静華 (ゆうかり保育園)  
溝下 壮太郎・古下 希 (地域生活支援拠点ゆうかり)

ゆうかり学園 〒891-1201 鹿児島市岡之原町1005番地 TEL 099-243-0535 FAX 099-243-0520  
ゆうかり保育園 〒891-0116 鹿児島市上福元町5828番地 TEL 099-263-1775 FAX 099-263-1776  
地域生活支援拠点 ゆうかり 〒890-0014 鹿児島市草牟田1丁目8-7 TEL 099-813-7183 FAX 099-813-7176

